

北九州市立学入学式 理事長祝辞

北九州市立大学は、2026年には創立80周年を迎える伝統のある大学です。

この長い歴史の中で、文系・理系の5学部・1学群、大学院4研究科を有する総合大学へと成長してきました。地域に根差した公立大学として、地域創生に積極的に取り組む、地域貢献度が高い大学として評価を得ています。そして、開学以来、世界的視野で考え、国際社会で実践的に活躍できる人材育成に取り組んでいます。

さて、現在、世界はこれまでに経験したことのないような変化の中にあります。少子高齢化社会の到来、AI・情報技術の著しい進展、脱炭素など環境問題への取り組み、国際社会のありよう・秩序の変化など、私たちを取り巻く社会経済環境は予測困難な状況にあるとも言われています。

このような時代においては、数理・データサイエンス教育を充実させていくことが、大学にとって、これまで以上に重要な取り組みとなると考えています。本学では、現在、社会の課題を発見し、データの収集、分析などを学ぶ新学部「情報イノベーション」学部（仮称）」の開設を進めているところです。皆さんには、数理・データサイエンスの分野にもチャレンジし、社会の課題を克服する一翼を担っていただき、新たな時代を作り上げてほしいと期待しています。

今年も、多くの方々が市外からも入学されていますが、ご承知の通り、本学は、北九州市民の方々に支えられて運営しています。ぜひ北九州市の歴史や文化に触れたり、市民の方々と連携して地域課題の解決に取り組んだりしながら、この街に愛着を感じ、卒業後もずっと北九州市との関係を大事にさせていただくことを望んでいます。

これから始まる皆さんの大学生活は、1人1人の人生の目標を実現していくために必要な能力を磨くことができます。大切な時間となります。この期間を最大限に活用できるように、学問と様々な体験をおして大いに学び、そして、友人や多様な分野の方々と出会い、交流し、人脈や視野を広げていってほしいと思っています。

北九州市立大学では、皆さんのこれからの大学生活が充実したものとなるよう、全力でサポートしていきますので、皆さんの積極的な挑戦を期待しています。

二〇二四年四月五日

北九州市立大学理事長 津田 純嗣